

カーブミラー

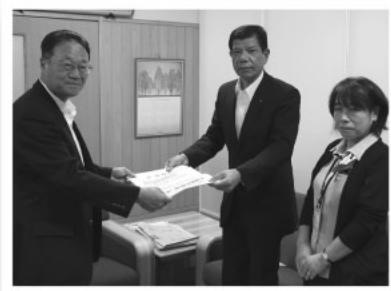
9/23 金

島根県農業協同組合雲南地区本部から、カーブミラー5基の寄贈を受けました。

島根県農業協同組合では、交通事故のない町づくりに寄与するため、交通事故防止機器を寄贈する取り組みを、長年にわたって行っております。

カーブミラーは町内に順次設置

し、交通事故防止に役立てることにしています。



加藤博樹雲南地区本部長(写真中央)、田邊佐由利赤来支店長(同右)

チャイルドシート寄贈

9/23 金

雲南地区交通安全協会飯南支部から、新生児から4歳まで対応できるチャイルドシート7基の寄贈



和田幹雄支部長(写真中央)、難波頼孝副支部長(同右)

を受けました。

支部長の和田幹雄さんは「若い命の保護と交通事故被害の軽減、チャイルドシートの正しい着用の徹底を推進するため、チャイルドシートを寄贈させていただきました。また、町では、子育てしやすい環境づくりにも力を注いでまいります。積極的な活用をお願いします」と伝えられました。

町では、子育て世代の負担軽減を目的にチャイルドシートの無償貸し出しを行っています。貸し出しの申込みは役場住民課まで。

■お問合せ
住民課
電話 76・2213

安全運転をお願いします

9/21 水

9/30 金

秋の全国交通安全運動期間中、町内では朝の街頭指導のほか、様々な交通安全啓発運動が実施されました。

森島建設・赤来ライオンズクラブは、のぼり旗を取り付けた軽トラックで、交通安全パレードを実施。桜ヶ台保育所の子ども達は、ポケットティッシュを、町内の野球スポーツ少年団は、国道54号線を通る車にリングとミニしめ縄飾りを配って、交通安全を呼びかけました。



安全運転をお願いします！



スポーツ少年団で鍛えた大きな声で、元気に交通安全を呼びかけました

子ども達から安全運転を呼びかけられたドライバーは、笑顔で「わかりました。ありがとう」と声をかけていました。

平成28年度 飯南町総合振興計画等 評価委員会を開催しました

8/24 水

平成28年度から10年間の、本町が目指す将来像やまちづくりの基本方針や実現のための施策をまとめた「第2次総合振興計画」。生活に幸せを感じ、持続可能な地域をつくるため、人口減少対策に必要な中期的な施策の基本的方向と施策をまとめた「総合戦略」。

評価委員会(赤穴憲一委員長)では、この2つの計画で定めた施策(数値目標)の進捗や成果などについて、評価と意見交換を行いました。

評価委員会の意見・概要は、下記のとおりです。(詳細は町のホームページに掲載)

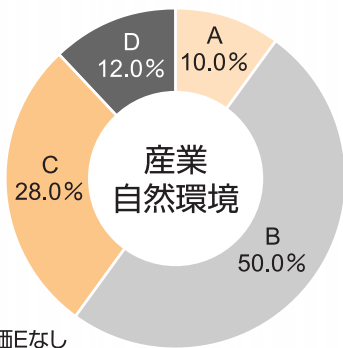
■お問合せ/企画財政課
電話 76・3941



評価委員17名が出席

評価基準

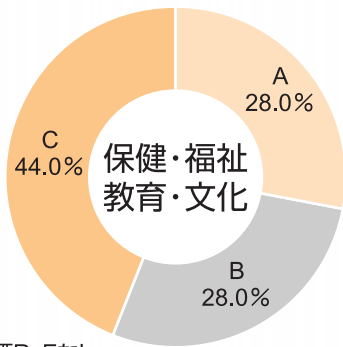
- A: 極めて効果的である。このまま継続して事業を推進
- B: 想定する効果に達している。継続して事業を推進
- C: 想定する効果にやや達していない。要因分析が必要
- D: 想定する効果を大きく下回っている。要因分析と目標値の見直しが必要
- E: 効果が出ていない。事業自体の抜本的見直しが必要



評価Eなし

産業・自然環境 (評価施策数:10)

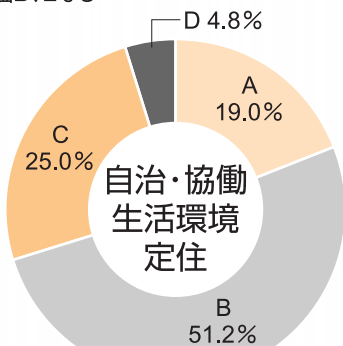
評価事業は、森林セラピーや観光協会運営支援、農業担い手育成、企業創業支援など。観光事業は、台湾旅行者の受け入れを高く評価するが、観光に関するPR手法の改善や森林セラピーの町民利用促進が課題。農業担い手育成は、担い手確保と自立に向けた更なる強化が必要。創業支援は、支援後のチェックや指導など、その後に繋がる対策が必要である。



評価D、Eなし

保健・福祉・教育・文化 (評価施策数:15)

評価事業は、飯南高校支援、子育て支援、医療・福祉など。高校支援、学習支援館について高く評価できるが、卒業後のまちへの定着や進学後のUIターンが増加する施策が必要。子育て施策は、医療費無料化や保育料軽減などが高く評価でき、今後も継続すべきである。保健・福祉・医療は、良い施策を行っているが、住民に対する周知が不十分であると感じる。



評価Eなし

自治・協働・生活環境・定住 (評価施策数:12)

評価事業は、住みよい地域創造事業や定住対策などのまちづくり事業、公共交通など。まちづくりで事業は、地域の意識の差が生まれている可能性もある。地域にあわせた支援策を検討すべきである。定住施策は、平成27年は社会増となったことが評価できる。地域公共交通は、ニーズや町の状況に応じて常に改善していくことが必要。